

都中P通信

No. 15

発行 平成23年11月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫

*** PTAアカデミー ***

昨年度に引き続き、理事研修としてPTAアカデミーを開催しています。理事会とともに各地区での開催を企画し、理事のほかにもP連からの参加を呼びかけています。

<10月 PTAアカデミー>

日時:平成23年10月19日(水) 19:00~20:00 場所:町田市立町田第二中学校視聴覚室

テーマ:「都中Pについて、知ろう、語ろう、関わろう」

講師:都中P相談役 岡村一弘 氏 (元都中P会長、元日P理事)

講師より、PTAが日本に導入された簡単ないきさつからはじまり、日本PTAの役割、PTAの役割について説明がありました。

①PTAは、19世紀末アメリカで子どものために起きた母親運動が始まりと言われている。②日本では、戦前には父兄会があったが、戦後子どもの幸せの実現のために保護者と教師の任意団体としてPTAが発足した。家庭と学校の連携協力、保護者と教師と地域社会の協力による児童青少年の健全育成などの実現が目的であり、現在まで受け継がれている。③5~6年前にPTAに対して課税の話があり、単Pのバザー等の収益事業にまで課税されるのか心配であったが、対象となったのは、日Pや都中Pなどの団体でした。

PTAの法的な根拠について質問がありましたが、PTAは任意の社会教育関係団体であるといわれており、はっきりとはわからないところです。一つの学校だけでなく、その区や市の地域全体の問題として取り組んでいこうと単Pが集って連合体を組織し、P連が成り立っています。一地域の問題だけでなく、東京都全体の問題に取り組もう、考えていこうと、東京都公立中学校PTA協議会が立ち上げられました。その活動に賛同したり、活用したりと、各地区のP連が都中Pに加入しています。今回、単位PTA、地区P連、都中P、日Pとそれぞれの役割があるとお話をされた方もいましたが、なかなか理解してもらえない方もいました。また、都中P会費について他地区と比較した意見を出された方がいました。会員数にあわせて会費の納入をお願いしていますので、会員が多い地区は会費も多くなります。会員として収める会費は、地区P連、都中P、日Pの運営、活動支援に活用されています。各個人が必要としている資料や情報は様々ですので、入手に都中Pという組織を大いに活用してください。過去において、都中Pでは全都に向けてアンケート調査を行い(部活手当の金額、学校図書館に関して等)、回答をまとめ各校へ冊子にて報告しています(平成20年3月、4月)。また、会員からの要望で教育庁からの通達文書入手し、理事会配布しました。中学校のPTAの活動期間は長くても3年間しかなく、目の前の子どもに対する関わりから、PTAという組織運営に関わる活動を理解するにはなかなか難しいものがあります。「都中Pについて」の理解に、毎年の働きかけが必要となっています。

*** お知らせ ***

<都中Pフォーラム>〔中学校PTAリーダー研修会〕

日時:平成23年12月10日(土) ・14時~16時30分 (17時15分~18時 理事会)

場所:多摩市立永山公民館ベルブホール

テーマ:「地域のつながり」~その時あなたは?~ (防災に関して) 基調講演、グループワーク

<平成24年 都中P・中親会合同「賀詞交歓会」>

日時:平成24年1月25日(水) ・18時30分~20時30分 (受付:18時~)

場所:ホテルローズガーデン新宿 ローズルーム

究極の「子育てネットワーク」 PTAって何？

★都中Pの構成は



都中Pは右の2つの協議会に所属しています

- 東京都公立幼小中高PTA連絡協議会(都幼P・都小P・都中P・都高Pで構成)
- 東京ブロックPTA協議会(都小Pと都中Pで構成)

《PTAって何?》

- ◎究極の子育てネットワーク・・・保護者と学校をつなぐクッション
保護者同士が係わり合い、助け合う場
- ◎学校の最大のサポーター・・・地域支援本部の役割(先生を助ける、教育環境の整備)
- ◎学校と地域を結ぶ要・・・PTAのOB、OGは地域の力の源
- ◎情報発信・・・中P連、都中P、日Pで得る情報
単P同士の交流から得る情報
- ◎次世代を育てるため
- ◎全員参加がベストだが、出来る人が出来ることを・・・参加して楽しかった(達成感)
わが子がよりよく育つためには、どの子も良く育つ環境が必要・・・もしPTAがなかったら・・・?

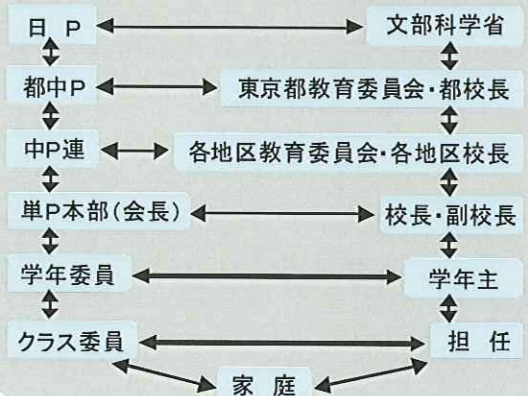
★都中Pの常置委員会は

3つの常置委員会は、次のような活動をしています。

- 総務財政委員会・・・PTA、P連、都中Pの組織運営に関する諸問題、財政確立のあり方と対策など
- 研修委員会・・・生涯学習の立場にたったPTA学習のあり方、青少年健全育成問題、学習指導のあり方、子ども達の生き方についての研修など
- 広報委員会・・・研修広報紙の発行、都中P通信の発行、広報紙コンクール審査

*** 対価は『ありがとう!』
手間も時間もかかったけど、
『やって良かった!!』 ***
== 残るのは人とのつながり ==

手をつなぐ



<ケータイ ヘルプデスク>

「東京子どもネット・ケータイヘルプデスク(こたエール)」は、東京都が平成21年7月8日から、青少年のためのインターネット・携帯電話等に関するトラブル専用の総合相談窓口(電話:03-3500-5181、インターネットURL:<http://www.tokyohelpdesk.jp/>)として開設しています。平成22年度の相談実績の一部を以下に紹介します。

- 相談の概要
 - 相談受理件数 : 2,078件
 - 青少年の相談のうち、携帯電話に起因する相談が5割を超え、パソコンに起因する相談の約3倍
 - ・中学生の相談のおよそ6割、高校生の相談のおよそ8割を占める
- 相談の特徴
 - 第1位が「架空請求」
 - ・青少年の相談の40%を占め、中学生の相談の39%、高校生の相談の51%を占める
 - 迷惑メールの相談割合が平成21年度に比べて増加
 - ・チェーンメール相談は中学生、スパムメール相談は高校生が多い

都中Pでは派遣委員活動の一環として「携帯電話端末等推奨基準検討委員会」に委員を派遣して、インターネット・携帯電話等に関する問題に取り組んでいます。

<都立高等学校入学者選抜制度検討委員会>

東京都教育委員会は都立高等学校入学者選抜全般について検証し、推薦に基づく選抜をはじめとする入学者選抜のあり方や制度上の課題について改善策を検討するために「都立高等学校入学者選抜制度検討委員会」(第二期:後半)を設置しました。この委員会には都中Pから2名出席します。都立高校の入試制度については都中Pの中でも取り組んでいこうと、研究会の形で話し合いを重ね検討委員会に意見を提出していきたいと考えています。

セイフティプラン24 【中途加入できます】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。E-mail: jpta@Tokyo-Jpta.org